

政策 22 「個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進」

政策 22 「個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進」は、限りない可能性を持つすべての子どもの個性が尊重され、21 世紀を切り拓く人材として創造性に富んだ豊かな心が育まれるよう、特色ある教育を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 22 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 36.6%、低認知度群は 63.4%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、女性（36.4%）が男性（36.2%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（41.5%）が 65 歳未満（34.4%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域（42.4%）が、回答者全体と比較して 5.8 ポイント高い。

石巻圏域（30.6%）が、回答者全体と比較して 6.0 ポイント低い。

(%)

政策 22 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.1	33.5	36.6	52.0	11.4	63.4	100.0

性別	男性	3.9	32.3	36.2	51.3	12.6	63.9	100.0
	女性	2.2	34.2	36.4	53.2	10.4	63.6	100.0
年齢別	65 歳未満	2.8	31.5	34.3	53.5	12.2	65.7	100.0
	65 歳以上	3.5	38.0	41.5	49.1	9.4	58.5	100.0

圏域別	仙台	2.3	36.2	38.5	49.3	12.2	61.5	100.0
	仙南	3.9	32.5	36.4	50.9	12.7	63.6	100.0
	大崎	3.6	38.8	42.4	47.8	9.8	57.6	100.0
	栗原	2.7	31.9	34.6	53.5	11.9	65.4	100.0
	登米	2.3	34.4	36.7	52.6	10.7	63.3	100.0
	石巻	3.8	26.8	30.6	57.9	11.5	69.4	100.0
	気山沼・本吉	2.6	32.9	35.5	53.4	11.1	64.5	100.0

有効回答者数 1,599 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 53.7%、低認知度群は 46.3%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（71.4%）が 17.7 ポイント、登米圏域（66.6%）が 12.9 ポイント、仙南圏域（60.7%）が 7.0 ポイント、石巻圏域（59.0%）が 5.3 ポイント高い。

仙台圏域（46.4%）が、回答者全体と比較して 7.3 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 60.6%、低認知度群は 39.4%である。

(%)

政策 22 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	7.7	46.0	53.7	40.8	5.5	46.3	100.0	
圏域別	仙台	7.1	39.3	46.4	46.4	7.1	53.5	100.0
	仙南	12.5	48.2	60.7	35.7	3.6	39.3	100.0
	大崎	5.2	45.5	50.7	44.2	5.2	49.4	100.0
	栗原	14.3	57.1	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	8.3	58.3	66.6	33.3	0.0	33.3	100.0
	石巻	4.5	54.5	59.0	27.3	13.6	40.9	100.0
	気山沼・本吉	5.6	50.0	55.6	41.7	2.8	44.5	100.0

有効回答者数 326 名

学識者等全体	7.6	53.0	60.6	36.4	3.0	39.4	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

2. 政策 22 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 87.4%、低関心度群は 12.6%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性（89.1%）が男性（85.6%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳未満（87.6%）が 65 歳以上（86.8%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策 22 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	36.1	51.3	87.4	10.6	2.0	12.6	100.0

性別	男性	34.4	51.2	85.6	11.9	2.5	14.4	100.0
	女性	36.8	52.3	89.1	9.5	1.4	10.9	100.0
年齢別	65 歳未満	34.3	53.3	87.6	11.0	1.3	12.3	100.0
	65 歳以上	39.4	47.4	86.8	9.6	3.6	13.2	100.0

圏域別	仙台	38.6	51.6	90.2	8.8	0.9	9.7	100.0
	仙南	42.3	46.3	88.6	10.6	0.9	11.5	100.0
	大崎	36.4	50.0	86.4	11.8	1.8	13.6	100.0
	栗原	35.2	53.0	88.2	10.2	1.5	11.7	100.0
	登米	37.6	49.3	86.9	10.4	2.7	13.1	100.0
	石巻	29.6	55.9	85.5	12.4	2.2	14.6	100.0
	気山沼・本吉	30.2	56.6	86.8	10.7	2.5	13.2	100.0

有効回答者数 1,627 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 92.8%、低関心度群は 7.2%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（100.0%）、登米圏域（100.0%）では共に 7.2 ポイント高い。

学識等全体における高関心度群は 95.4%、低関心度群は 4.5%である。

(%)

政策 22 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	34.2	58.6	92.8	7.2	0.0	7.2	100.0	
圏 域 別	仙台	38.5	91.5	8.5	0.0	8.5	100.0	
	仙南	39.3	94.7	5.4	0.0	5.4	100.0	
	大崎	26.0	63.6	89.6	10.4	0.0	10.4	100.0
	栗原	28.6	71.4	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	26.1	69.6	95.7	4.3	0.0	4.3	100.0
	気山沼・本吉	27.0	67.6	94.6	5.4	0.0	5.4	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	51.5	43.9	95.4	4.5	0.0	4.5	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 22 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 30.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 46.3%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 44.4%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 40.0%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	50.0	30.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	70.0	40.0	30.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	9.2	(90.8)
満足度 60 点未満の割合		55.5
要検討領域にある回答者全体の割合		46.3

有効回答者数；重視度 1,604 人、満足度 1,576 人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策22重視度	政策22満足度
度数	有効	1604	1576
	欠損値	117	145
平均値		79.19	52.38
平均値の標準誤差		.410	.446
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.415	17.715
分散		269.461	313.827
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	65.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	5.4	(94.6)
満足度 60 点未満の割合		49.8
要検討領域にある回答者全体の割合		44.4

有効回答者数；重視度 334 人、満足度 331 人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策22重視度	政策22満足度
度数	有効	334	331
	欠損値	4	7
平均値		79.82	54.59
平均値の標準誤差		.755	.835
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		13.802	15.198
分散		190.508	230.970
範囲		70	90
最小値		30	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	75.0	50.0	25.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

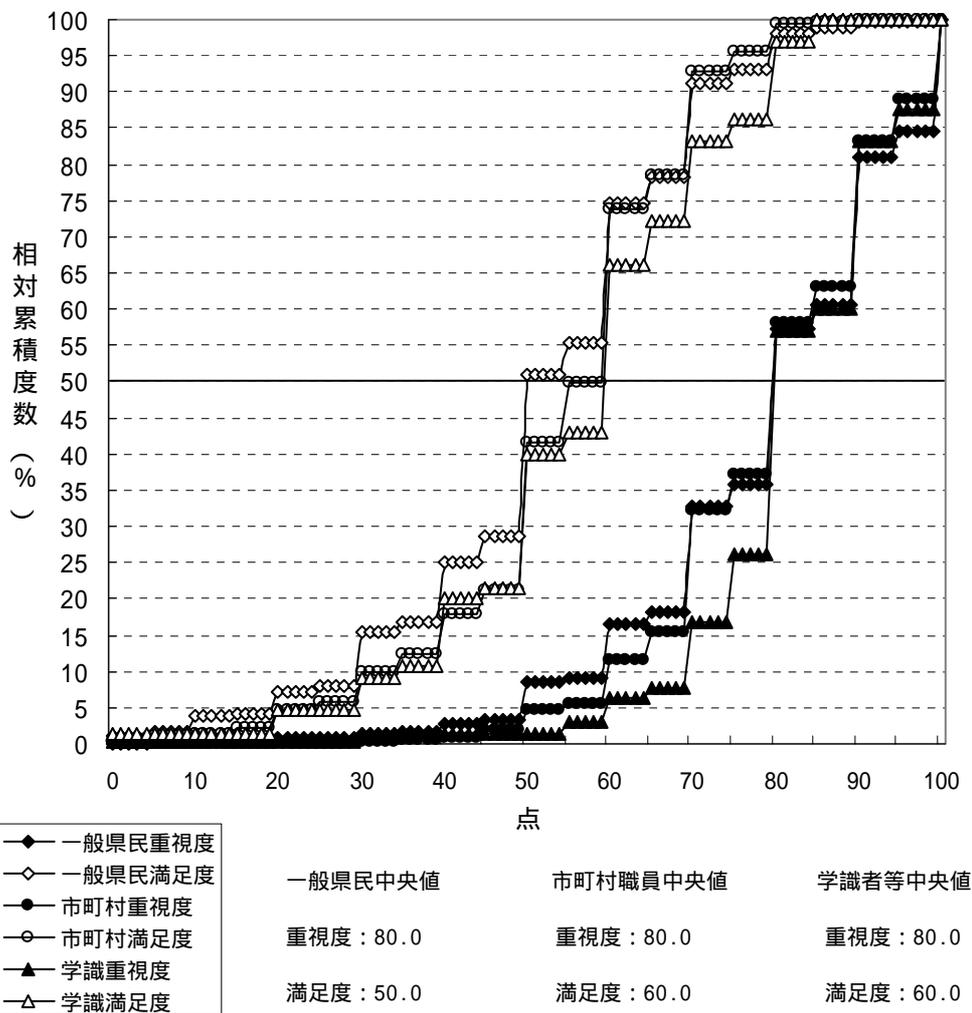
	回答者全体	
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	3.1	(96.9)
満足度 60 点未満の割合		43.1
要検討領域にある回答者全体の割合		40.0

有効回答者数；重視度 65 人、満足度 65 人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策22重視度	政策22満足度
度数	有効	65	65
	欠損値	4	4
平均値		82.23	56.85
平均値の標準誤差		1.551	2.085
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		12.501	16.807
分散		156.274	282.476
範囲		70	80
最小値		30	5
最大値		100	85
パーセンタイル	25	75.00	50.00
	40	80.00	52.00
	50	80.00	60.00
	60	88.00	60.00
	75	90.00	70.00

「政策22 個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進」



3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性 (55.0 点) が男性 (50.0 点) よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性 (30.0 点) が女性 (25.0 点) よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 48.8%、女性 43.9%と推定できる。

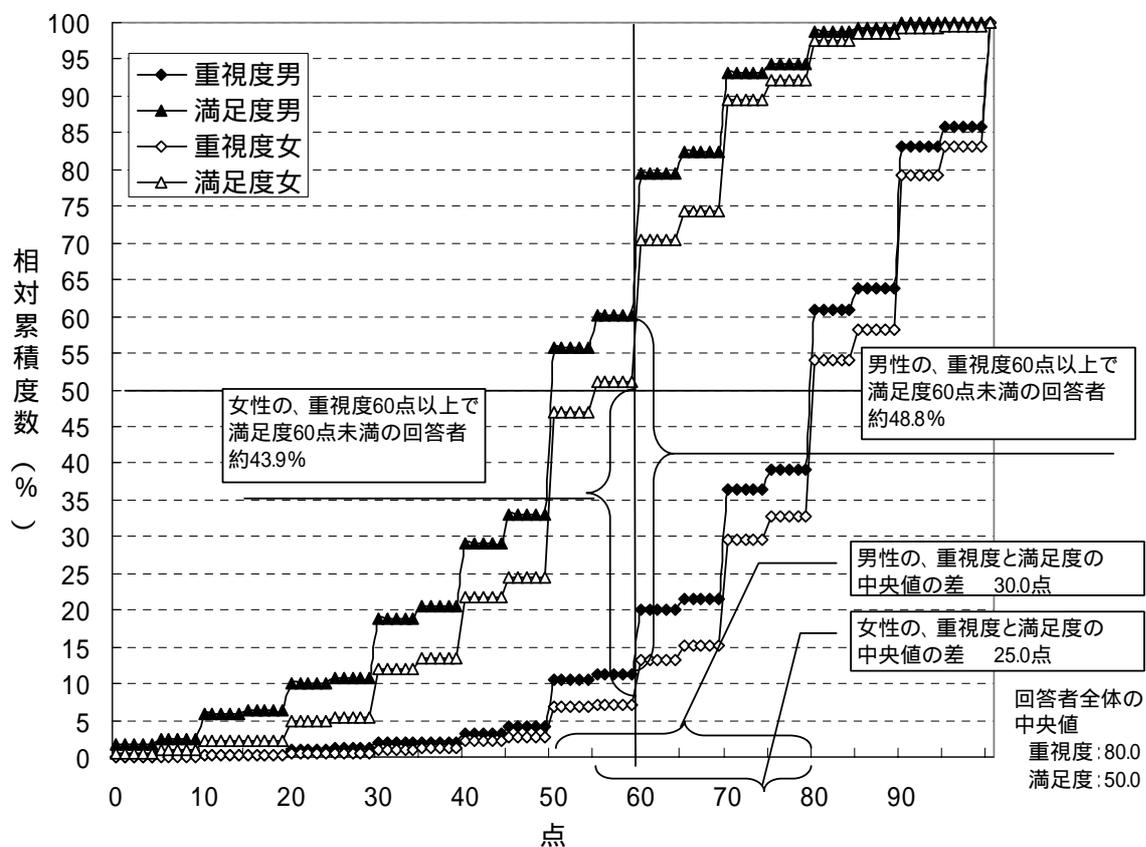
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	60.0	70.0
	かい離	25.0	30.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	12.5	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	11.3 (88.7)	7.2 (92.8)
満足度 60 点未満の割合	60.1	51.1
要検討領域にある回答者全体の割合	48.8	43.9

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策22重視度	政策22満足度
度数	有効	758	750
	欠損値	45	53
平均値		77.63	49.91
平均値の標準誤差		.622	.671
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.124	18.363
分散		293.229	337.209
範囲		100	95
最小値		0	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策22重視度	政策22満足度
度数	有効	828	808
	欠損値	68	88
平均値		80.57	54.66
平均値の標準誤差		.543	.592
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.637	16.823
分散		244.501	283.001
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（30.0 点）が 65 歳以上（25.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 48.5%、65 歳以上 39.6%と推定できる。

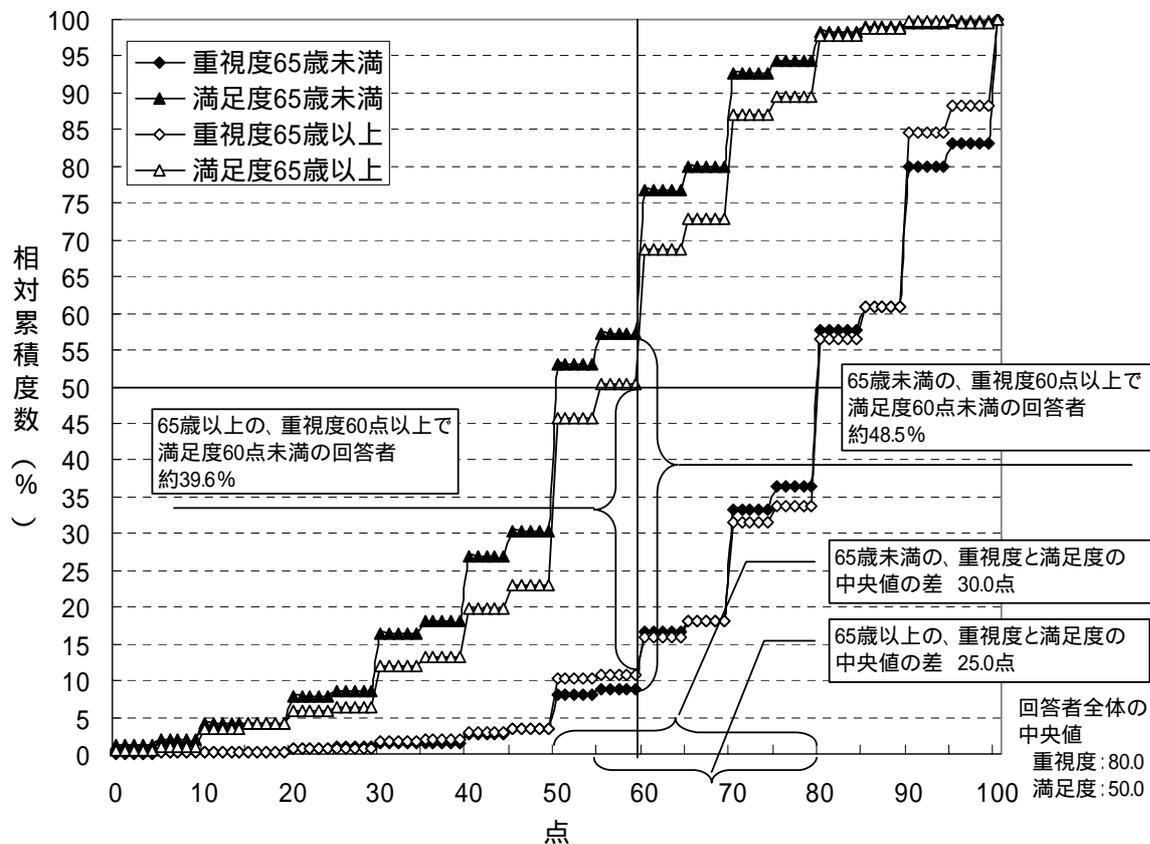
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	60.0	70.0
	かい離	25.0	30.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	12.5	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	8.7 (91.3)	10.7 (89.3)
満足度 60 点未満の割合	57.2	50.3
要検討領域にある回答者全体の割合	48.5	39.6

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策22重視度	政策22満足度
度数	有効	1182	1168
	欠損値	58	72
平均値		79.26	51.50
平均値の標準誤差		.480	.519
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.509	17.740
分散		272.531	314.720
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策22重視度	政策22満足度
度数	有効	402	388
	欠損値	55	69
平均値		78.88	55.03
平均値の標準誤差		.807	.889
中央値		80.00	55.00
最頻値		90	50
標準偏差		16.174	17.506
分散		261.587	306.459
範囲		80	95
最小値		20	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 (80.0 点) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、登米圏域 (57.5 点) が回答者全体 (50.0 点) よりも 7.5 ポイント、大崎圏域 (55.0 点) が 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、すべての圏域が 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域 (10.0 点)、仙南圏域 (10.0 点)、大崎圏域 (10.0 点)、気仙沼・本吉圏域 (10.0 点)、登米圏域 (7.5 点)、石巻圏域 (6.3 点) の 6 圏域が回答者全体 (12.5 点) よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域 (85.0 点)、登米圏域 (85.0 点) の 2 圏域が回答者全体 (80.0 点) よりも 5 ポイント高く、石巻圏域 (70.0 点) が 10 ポイント低い。

満足度の中央値は、仙台圏域 (55.0 点)、仙南圏域 (55.0 点)、登米圏域 (55.0 点)、石巻圏域 (55.0 点) の 4 圏域が回答者全体 (60.0 点) よりも 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、登米圏域 (12.5 点) が回答者全体 (10.0 点) よりも大きく、仙南圏域 (9.4 点)、栗原圏域 (7.5 点) の 2 圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、登米圏域 (10.6 点)、大崎圏域 (10.0 点)、栗原圏域 (10.0 点)、石巻圏域 (10.0 点) の 4 圏域が回答者全体 (7.5 点) よりも大きく、気仙沼・本吉圏域 (6.9 点)、仙南圏域 (5.0 点) の 2 圏域が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	57.5	50.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	25.0	30.0	22.5	30.0	30.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0	50.0	47.5	40.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	25.0	30.0	20.0	22.5	30.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	60.0	60.0	65.0	65.0	65.0	60.0	60.0
	かい離	25.0	30.0	30.0	25.0	25.0	25.0	30.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	12.5	10.0	10.0	10.0	12.5	7.5	6.3	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	85.0	85.0	70.0	80.0
	満足度	60.0	55.0	55.0	60.0	60.0	55.0	55.0	57.5
	かい離	20.0	25.0	25.0	20.0	25.0	30.0	15.0	22.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	71.3	70.0	75.0	70.0	65.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	46.3	40.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	21.3	20.0	25.0	23.8	25.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	95.0	85.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	60.0	70.0	70.0	67.5	60.0	63.8
	かい離	25.0	25.0	30.0	20.0	20.0	27.5	25.0	26.3
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	9.4	10.0	7.5	12.5	10.0	10.0
	満足度	7.5	7.5	5.0	10.0	10.0	10.6	10.0	6.9

4. 政策 22 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 7 「地域社会と学校教育との協働の推進」(41.0%) である。

第 2 位は施策 1 「特色ある学校づくり」(18.7%) である。

第 3 位は施策 6 「地域に開かれた学校づくり」(14.5%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 7 「地域社会と学校教育との協働の推進」(43.1%) である。

第 2 位は施策 1 「特色ある学校づくり」(24.9%) である。

第 3 位は施策 6 「地域に開かれた学校づくり」(11.1%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 7 「地域社会と学校教育との協働の推進」(41.8%) である。

第 2 位は施策 1 「特色ある学校づくり」(32.8%) である。

第 3 位は施策 6 「地域に開かれた学校づくり」(9.0%) である。

性別

一般県民では、

性別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、男性では施策 6 「地域に開かれた学校づくり」、女性では施策 2 「不登校児童生徒等への支援」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別毎の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 7 「地域社会と学校教育との協働の推進」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の 6 圏域では施策 1 「特色ある学校づくり」、気仙沼・本吉圏域では施策 6 「地域に開かれた学校づくり」である。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米の 5 圏域では施策 6 「地域に開かれた学校づくり」、石巻圏域では施策 2 「不登校児童生徒等への支援」、気仙沼・本吉圏域では施策 1 「特色ある学校づくり」である。

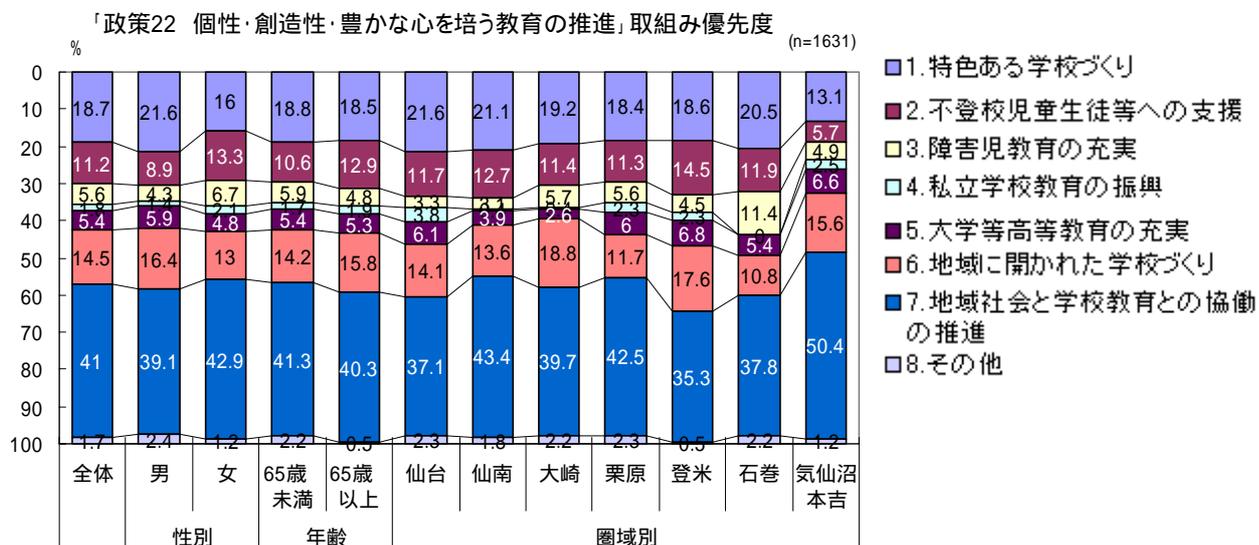
市町村職員では、

第 1 位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 7 「地域社会と学校教育との協働の推進」、栗原圏域では施策 1 「特色ある学校づくり」と施策 2 「不登校児童生徒等への支援」である（栗原圏域では施策 1 と施策 2 が共に第 1 位になっている）。

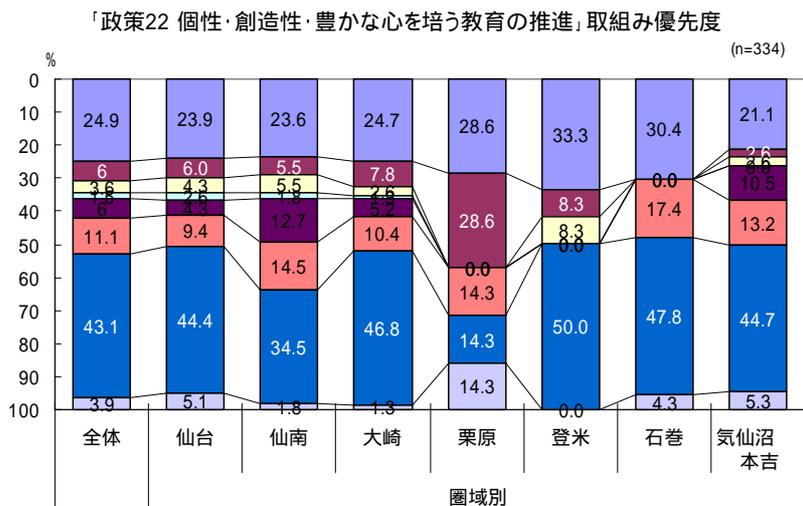
第 2 位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 1 「特色ある学校づくり」である。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 6 「地域に開かれた学校づくり」、栗原圏域では施策 7 「地域社会と学校教育との協働の推進」と施策 8 「その他」、登米圏域では施策 2 「不登校児童生徒等への支援」と施策 3 「障害児教育の充実」である（栗原圏域では施策 6 と施策 7 と施策 8 が、登米圏域では施策 2 と施策 3 が共に第 3 位になっている）。

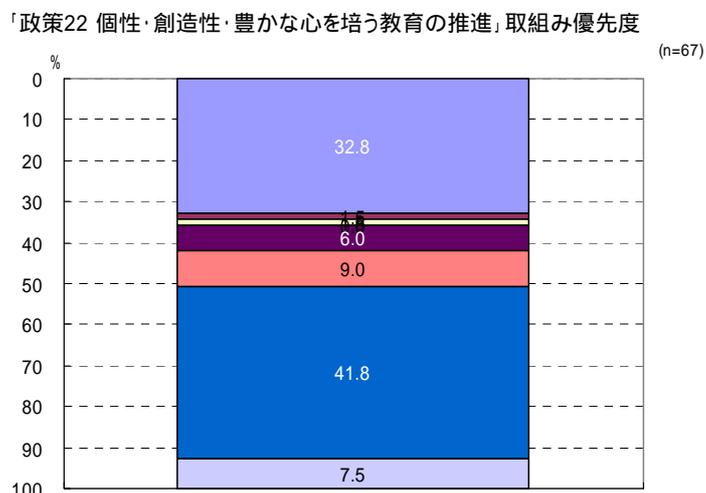
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 22 「個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.特色ある学校づくり	18.7	21.6	16.0	18.8	18.5	21.6	21.1	19.2	18.4	18.6	20.5	13.1
2	2.不登校児童生徒等への支援	11.2	8.9	13.3	10.6	12.9	11.7	12.7	11.4	11.3	14.5	11.9	5.7
3	3.障害児教育の充実	5.6	4.3	6.7	5.9	4.8	3.3	3.1	5.7	5.6	4.5	11.4	4.9
4	4.私立学校教育の振興	1.8	1.4	2.1	1.7	1.9	3.8	0.4	0.4	2.3	2.3	0.0	2.5
5	5.大学等高等教育の充実	5.4	5.9	4.8	5.4	5.3	6.1	3.9	2.6	6.0	6.8	5.4	6.6
6	6.地域に開かれた学校づくり	14.5	16.4	13.0	14.2	15.8	14.1	13.6	18.8	11.7	17.6	10.8	15.6
7	7.地域社会と学校教育との協働の推進	41.0	39.1	42.9	41.3	40.3	37.1	43.4	39.7	42.5	35.3	37.8	50.4
8	8.その他	1.7	2.4	1.2	2.2	0.5	2.3	1.8	2.2	2.3	0.5	2.2	1.2

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.特色ある学校づくり	24.9	23.9	23.6	24.7	28.6	33.3	30.4	21.1
2	2.不登校児童生徒等への支援	6.0	6.0	5.5	7.8	28.6	8.3	0.0	2.6
3	3.障害児教育の充実	3.6	4.3	5.5	2.6	0.0	8.3	0.0	2.6
4	4.私立学校教育の振興	1.5	2.6	1.8	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
5	5.大学等高等教育の充実	6.0	4.3	12.7	5.2	0.0	0.0	0.0	10.5
6	6.地域に開かれた学校づくり	11.1	9.4	14.5	10.4	14.3	0.0	17.4	13.2
7	7.地域社会と学校教育との協働の推進	43.1	44.4	34.5	46.8	14.3	50.0	47.8	44.7
8	8.その他	3.9	5.1	1.8	1.3	14.3	0.0	4.3	5.3

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.特色ある学校づくり	32.8
2	2.不登校児童生徒等への支援	1.5
3	3.障害児教育の充実	1.5
4	4.私立学校教育の振興	0.0
5	5.大学等高等教育の充実	6.0
6	6.地域に開かれた学校づくり	9.0
7	7.地域社会と学校教育との協働の推進	41.8
8	8.その他	7.5

政策 22 「個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進」